

阿蘇家保だより

平成30年4月号

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612

職員の異動がありました！

退職	所 長	山下秀憲
	衛生課長	川邊邦彦
	嘱 託	嶋田隆治
転出 (今年度の所属)	防疫課長	小池康司 (中央家保)
	参 事	森将臣 (草地畜産研究所)
	技 師	吉田大志 (BSE検査所)

転入 (昨年度の所属)	所 長	荒牧美喜雄 (城南家保)
	衛生課長	白石隆 (天草家保)
	防疫課長	村田典久 (中央家保)
	主任技師	小野結菜 (水俣保健所)
	嘱 託	佐藤敬明 (天草家保)
	新規採用	山部加楼羅

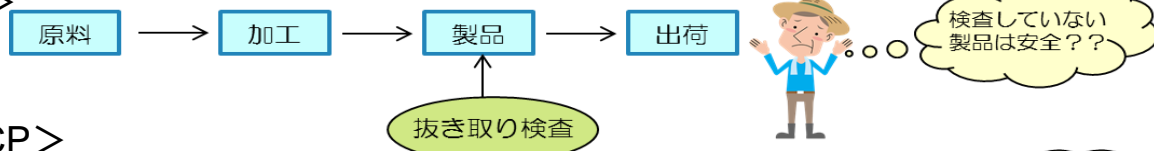
農場HACCPに取り組んでみませんか？

「HACCP」とは「危害要因分析・必須管理点 Hazard Analysis Critical Control Point」の略称で、食品の製造工程で発生するおそれのある危害要因（微生物、化学物質、異物など）について、その危害要因を防止するための管理ポイントを設定して継続的に監視・記録することにより、食品の安全性を向上させる取り組みです。

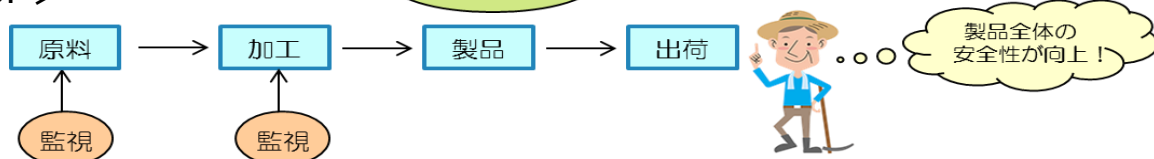
「農場HACCP」は、飼養衛生レベルを向上させる「**一般的衛生管理プログラム**△」と、重大な危害要因が発生するポイントを管理する「**HACCP計画**」の2つで構成されます。

従来は、最終的に出来上がった製品を抜き取り検査し、合格したロットを出荷する方法を採用していましたが、この方法では検査していない製品が安全であるか不明瞭でした。一方、HACCPでは、原料、加工の段階など危害の侵入する可能性があるポイントを継続的に監視するため、製品全体の安全性の向上が期待されます。

<従来>



<HACCP>



農場HACCPに取り組むことで得られるメリット

- 農場が原因となる危害要因(動物用医薬品や注射針の残留等)を管理できる
- 記録の整備により、クレームに対する原因追究が容易になり、供給先からの信頼性や農場従事者の衛生意識が向上する
- 無駄なコストを抑えつつ、最適な衛生状態を作り出すことができる
- 衛生水準の高い農場として取引先にアピールできる

平成30年3月30日の時点で、農場HACCPの認証を取得している農場は下表のとおり、全国で185農場あります。内訳は、肉用牛29農場、乳用牛19農場、豚90農場、肉用鶏3農場、採卵鶏44農場です。

	肉用牛	乳用牛	豚	養鶏(肉用)	養鶏(採卵)	合計
農場HACCP認証農場	29農場	19農場	90農場	3農場	44農場	185農場

H30年3月30日現在 (農林水産省 消費・安全局動物衛生局HPより引用)



(中央畜産会リーフレットより引用)

また、認証機関の審査に合格すると生産農場でHACCP認証マークを使用することもできます

農場HACCPは、家族経営の小規模農場でも取り組むことができます。関心をお持ちの畜産農家の方は、最寄りの家畜保健衛生所までご相談ください。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ	H5N2	台湾(14件)	肉用・採卵用あひる、七面鳥、地鳥	平成30年2月22日 ~3月12日
	H5N6	韓国(4件)	採卵鶏、肉用あひる	平成30年3月13日 ~3月16日
		中国(1件)	あひる	平成30年2月22日
	H7N9	中国(1件)	採卵鶏	平成30年2月7日
口蹄疫	A型	韓国(1件)	豚	平成30年3月26日
		中国(1件)	羊	平成30年2月24日
	O型	ロシア(1件)	牛・山羊・羊・豚	平成30年2月10日
		モンゴル(14件)	牛・山羊・羊	平成30年1月9日 ~3月6日

平成30年4月1日時点



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

